



別海町立中春別中学校



学校だより

令和4年3月1日発行 校長 岩崎 撰也

自然の猛威

校長 岩崎 撰也

北京で開催されていた冬のオリンピックでは別海町出身の森重航選手がスピードスケート500Mで銅メダルに輝くなど、日本人選手が大活躍する姿とたくさんのドラマを見せてくれました。ただ少し残念だったのが、競技によっては見ていて納得できないようなジャッジもあったと感じられたことです。スポーツマンシップを尊ぶことは近代オリンピックを提唱したクーベルタン男爵が最も大切にしたことであり、オリンピックに出場するために大変な努力を重ねてきた選手たちのためにも公平で厳正な競技運営をしてほしかったと思います。

さて、今年は例年になく雪が少ない年で授業時数の確保も順調だと思っていたのですが、2月21日、22日は根室管内全域で臨時休校となりました。道内各地を見ると、雪の重さで店舗の屋根が倒壊したり、JRでは除雪が追いつかず長時間にわたって運休したりするなど各地で被害が相次いで発生しました。近隣においても多くの道路が通行止めになり、移動手段が奪われるなど、生活に大きな影響を及ぼす事態となりました。ともあれ、数年前の暴風雪の時のように命に関わる事故にならなかったことは不幸中の幸いだったと思います。生徒にとっては思いがけない5連休となりましたが、時間の過ごし方について「家の雪かきを頑張った」、「ゲーム」、「主に寝ていた」などの答えが返ってきました。時間の過ごし方は様々ですが、あまり充実感はなかったようです。

学校では、北海道におけるコロナウイルスのまん延防止等重点措置が継続される中、換気、消毒、手洗いといった感染対策を継続するとともに、まん延防止期間中は部活動の自粛も継続しております。生徒にとってはまた授業だけの我慢を強いる学校生活になりフラストレーションもたまると思いますが、危機管理を考慮した措置であることをご理解いただきますようお願いいたします。また、この時期、感染への不安や家族の風邪症状などで欠席する生徒も増える中、タブレットを家に持ち帰って行うオンライン授業もスタートしております。実際に対面で授業を受けるのと同様の効果は期待できませんが、少しでも授業内容の理解につながればと考えております。通信環境を整えることに伴ってご家庭の負担もあるかと思いますが、今後ともご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。



3年生は公立高校の入試を3月3日（学力検査）、4日（面接）に控え、最後のスパートで学習に取り組んでいます。また卒業までの登校日もあとわずかとなり、残された中学校生活の時間を心に刻みつけるように大切に過ごしています。なお、3月10日に行う卒業式では昨年に引き続きまして、来賓の皆様のご出席をお控えいただき、各家庭2名以内の保護者と在校生が出席する中で開催いたします。時下の状況から、ご理解いただきますよう、お願いいたします。